

陸上貨物運送事業労働災害防止キャンペーンを実施しました

令和7年11月21日(金)、宮城労働局(局長松瀬 貴裕)では、協同組合仙台卸商センター及び陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮城県支部とともに陸上貨物運送事業労働災害防止キャンペーンを実施しました。



(周知活動で巡回中)

(事務所を訪問)



(キャンペーン開始式。労働基準部長挨拶)

キャンペーンでは、協同組合仙台卸商センターの組合員等約50社を巡回し、荷主等(発・着荷主)の陸上貨物運送事業における労働災害防止への協力を呼び掛けました。

その後、協同組合仙台卸商センターとの共催による労務管理・安全管理研修会を開催し、当局担当官から、年末に向けた労働災害防止の取組み、今後のストレスチェック義務化および実施方法と注意点、自動車運転者の労働時間等を説明したほか、長時間の荷待ち時間の解消の協力要請を行いました。研修会には協同組合仙台卸商センターの組合員、近隣事業場の労務管理安全担当者約20名が参加しました。



(協同組合仙台卸商センター総務部長挨拶)



(熱心に説明を聴く参加者)

